

編集 発行：滋賀県精神保健福祉協会
 事務局：滋賀県精神保健福祉協会
 〒525-0072 草津市笠山八丁目4番25号
 滋賀県立精神保健総合センター一気付
 TEL/FAX 077(567) 5250

滋賀県精神保健福祉協会だより

平成十五年度 精神保健福祉ボランティア養成講座

平成十五年度、福祉協会主催・精神保健福祉ボランティア養成講座が、守山会場を皮切りに県下四会場に於いて開催されています。この講座は平成十四年度から県委託事業として実施されているものです。

福祉協会の目的である「障害のある人もない人も、共に暮らしよい社会づくりを目指す」事への礎を担えればと願っています。県民に対する正しい知識の普及啓発によって、一人一人が精神保健福祉の問題に関心をよせ、理解を深め、精神障害者に対する誤解偏見をなくしていきたいと思えます。受講者がそれぞれの地域で、同じ地域住民として、当たり前のお付き合いができる良き理解者（ボランティア）の輪が更に大きく広がる事を願っています。尚、今後の実施会場につきましては伝言板をご覧ください。

- <講座内容>
- 第1日目 「こころの病って何？」 講師：精神科医師 地域振興局 保健師
 - 第2日目 「家族、当事者、ボランティアの声を聞かせてもらおう」
 - 第3日目 「市町村の精神保健福祉の実情について」 講師：市町村 保健師



精神科医師
明神徹郎氏

のが下手なために社会的不適応を起し、病気が軽快しても社会参加が苦手で慢性化する人もいます。就労や一人前の生活から、地域の中でのごく普通の生活に目標を転換し「病者」から「生活者」への転換が必要である。ボランティアに期待する事は、当事者の自己決定権を尊重して日常の中でお互いに支え合うことにあると結ばれました。又、病気についても、統合失調症、感情障害、神経症、薬物依存症、脳器質性障害等を分かりやすく教えていただきました。

湖南地域振興局健康福祉部保健師

竹内美知枝氏の講義から

滋賀県の精神保健福祉施策について、医療、社会復帰施設、地域サービスへと流れを追って説明していただきました。入院には措置入院や医療保護入院の強制入院や任意入院がある。強制入院の退院請求に関しては精神医療審査会が審査にあたる。通院医療では通院医療公費負担

制度を利用すれば5%の自己負担となる。又、福祉手帳の取得により税制の優遇措置、生活保護法の障害者加算、県立施設入場料等の減免、老人保護医療の給付等が受けられる。

社会復帰施設には生活訓練施設（日常生活に適応の為に訓練）、授産施設（雇用される事が困難な精神障害者に必要な訓練）、福祉ホーム（低額な料金で居宅等を提供）、福祉工場（雇用として社会生活への適応の為に必要な指導）、地域生活支援センター（身近な地域で相談、助言、連絡調整）等の施設がある。地域サービスには精神保健福祉センター（保健所等への技術的援助）、保健所（市町村への技術支援と広域調整）、市町村（福祉サービス利用等の窓口）が当たっている。又在宅精神障害者へのサービスには、居宅介護等事業（ホームヘルプサービス）、短期入所事業（ショートステイ）、地域生活援助事業（グループホーム）等があります。特に社会復帰対策事業には就業訓練協力金、就業支度金、就業奨励金、生活費補助金制度もあります。

（ボランティア養成講座実行委員 山崎静子）



湖南地域振興局
 健康福祉部保健師
竹内 美知枝氏



〈第二日目〉

十一月二十六日(水)一時三十分〜四時
先週の第一回で、「こころの健康」ってなに?というテーマに基づいて、明神先生には、病気そのものの事について、竹内保健師には、精神保健福祉施策について、大変わかりやすく、丁寧にお話しして頂きました。

そこで、今日の第二回では、「当事者・家族・ボランティアの声を聞かせてもらおう!」ということで、それぞれの立場の九人の方々に、心からの生の声で、お話しを聞かせて頂きました。

今までは、人に知られたくなかったこと、思い出ししても辛いこと、周りに友達がいなくなつて、とても寂しかったことなどなど。だけど、今は仲間がいて、気持ちもホッと和むこと、今までの経験を何かの役に立てたら良いなと思うことなど、本当に良く話して下さいました。

そして、ボランティアとして仲間になった人達からは、ちよつと戸惑うこともあったけれど、たくさん字が書けたり、心が通う喜びを実感できたり、うれしんですよ。との声もありました。

長時間にわたり、皆さんお疲れになつたでしょうが、最後まで熱心に聞いて下さいました。

受講者二十五名 話してくださった方九名
実行委員その他六名

〈第三日目〉

十二月三日(水) 一時三十分〜四時

「自分出来る事って何?守山市の実情と精神保健ボランティアに期待すること」という事に基づいて、山本保健師にお話し頂きました。統合失調症の発症人口は百人に一人。守山市の人口から推計すると約七百人(病気の六割)。入院総数一万三千三百四十人、内精神障害千八百六十四人。通院医療費公費負担制度利用者、管内百九十二人。管外百一人など、資料にそつて詳しい説明のあと、「本人に直接係わるボランティアの大切さと共に、心に病を持つ人が地域で当たり前に暮らせる様、周りに働きかける事も大切な事ではないか。」と結ばれました。

*身近にいないので、あまり関心がなく、別世界の事だと思つていましたが、心の病で悩んでいる人が多いので驚いています。
*少し身近に考えられる様になりました。

*家族のお話しを聞いて、一言では言い表せない思いをされ頑張つてこられたことを思い、頭の下がる思いです。

*一般の人への啓発をボランティアから広げて欲しいです。勉強会に参加したい。
*「自然な形で、気軽に対話が出来たらいいのになあ」と思えるようになりました。

(ボランティア養成講座実行委員 今西京子)



保健師 山本 なお栄 氏

平成十五年度地域生活協力員交流会事業

日帰り県外研修に参加して

平成十五年九月十六日(火) 県内各地から集つた三十八名がバス一台を仕立てて共に楽しく、一日の研修・見学をいたしました。午前中は京都市こころの健康増進センター相談援助課係長・新井綾子氏、京都市朱雀工務施設長・上村啓子氏、地域ボランティア 音吉とよ子氏の方々からお話を聞き、午後にはセンター所内と西山高原工作所の見学をしました。

それぞれの方々のお話をお聞きして、病気・障害を持つて困つている当事者や家族に対して、きめ細やかな事業活動を進めておられる京都市こころの健康増進センター・保健所や、精神保健福祉ボランティアを先頭に地域の市民が、当事者や家族の大きな支えになつておられることを痛感しました。特に、センターの事業活動の中に、病気・障害をもつた当事者や家族の支援に最も大切な役割を果たしておられる精神保健福祉ボランティアの育成を課題におかれて、精神保健ボランティア連絡協議会の立ち上げに力を入れておられるとお聞きして感心しました。ますます京都市民のこころの健康増進事業活動

を図られていかれることにより、近い将来健全で明るく誰もが住み良い社会になるだろうと思ひました。滋賀の私たちも自分にできることから、精神保健福祉ボランティアとしてまた市井のひとりとして滋賀の障害福祉事業活動に参加していこう、その事が自分たちのすてきな街づくりにつながるのだと思ひました。ちよつと立ち止まり生き方について考えさせてくださったよい研修会でした。

(精神障害者を守る連合会 高橋和子)



調査研究部会

「精神保健福祉サービス勉強会」

に参加して

二〇〇三年十一月十六日(日)、長浜にあります精神障害者通所授産施設「友愛ハウス」・精神障害者地域生活支援センター「そら」において、精神保健福祉サービス勉強会が行われました。当日は六十名近いたくさんの方々が集まり、熱心にメモを取る姿も見られ、このような機会が望まれていたことがうかがえました。

まず保健師による具体的なサービスや制度についての説明があり、その後質疑応答になりました。障害年金が受給されないことや手帳の申請のしづらさなど当事者が感じる身近な悩みやニーズが出され、精神障害者をとりまく社



会保障制度がいかに不備なものか分かりました。また淡海障害者プランの話

題では、現在退院可能な七万二千人の入院患者の方々地域での生活の場や社会復帰の場を作るため、具体的な数値目標が示されました。しかしその数値を見ても資源があまりにも少なすぎます。当事者や家族、関係者はもとより、地域の方々も含めて理解や共感の輪を広げていくことで、精神障害者の本当のニーズが施策に反映されるようますます訴えていかなければと感じました。

私自身、この勉強会で学んだこと、感じたことを今後の仕事や活動の中で活かしていきたいと思えます。

(友愛ハウス 竹田まゆみ)

十月五日(日)、笑ってメンタルヘルズ滋賀支部は「第二回総会と講演会」を行いました。第一部では去年と同様にパフォーマンスを、第二部では「笑いは脳と心の処方せん」末期ガンから生還した百人に学ぶガン予防法」というテーマで日本笑い学会副会長の昇幹夫氏による講演会を行いました。ピバシティホール(彦根市)に約百名の参加がありました。

前半のパフォーマンスでは看護学生、精神科医、看護師、NPO法人会員がコント、マジック、漫才などを披露しました。友人好みや素人好みの数々の芸を参加者一同楽しみました。後半の講演会では昇先生の巧みな話術で笑いの絶えない時間でした。「逆らわず、いつもニコニコ、従わず」の精神で、「カレンダーを日めくりに変えて」今を生きていることが、「死ぬまで生きる秘訣」であると教えていただきました。

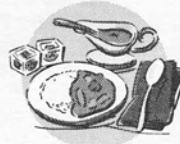
楽しく明るく人生について考えることができました。

(笑ってメンタルヘルズ 岩下)

かんたん たんか

サロンでランチ 十月十日(金)

スリランカカレーの激辛無口になる人
をもしやべらすサロンでランチ



はすいものさりさり感が好評のうっちゃ
ん畑のふきよせサラダ

青トマトはすいもゴーヤなんどき菜秋
の畑をサラダに散らす

ミントの葉ホイップクリーム絞りのせ
マンゴープリン拍手の中へ

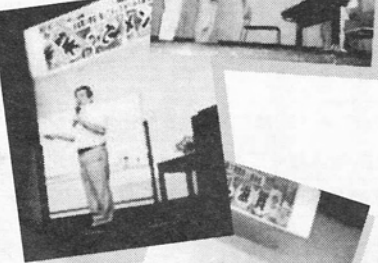
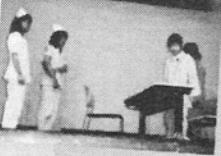


心病む人達のためあるサロンスタッフ
われのためあるごとし

詠み人知らず



笑ってメンヘル滋賀
第2回総会と
講演会の報告



伝言板

「こころの会」例会のご案内

日 時…平成16年1月10日(土) 13:30～16:00
 場 所…県立男女共同参画センター 研修室B
 内 容…現在、悩んでいること、薬のこと、病気のこと、等
 問合せ…「こころの会」浦生郡日野町木津192
 TEL/FAX 0748-52-2918
 (この会は患者会です)

「笑ってメンヘル滋賀」新年研究会のお知らせ

日 時…平成16年1月31日(土) 午後3時～5時
 場 所…南彦根クリニック デイケア室
 テーマ…初笑い/落語家さんと遊ぶ パート2
 新春の土曜日の午後、笑福亭生喬さんの落語ライブの後、落語教室で遊びましょう。
 連絡先…日本笑い学会・笑ってメンタルヘルス滋賀支部 南彦根クリニック
 〒522-0054彦根市西今町138 TEL0749-24-7808 FAX0749-24-7807

協会「平成15年度精神保健福祉ボランティア養成講座」事業

日野会場

日・場所…平成16年1月21日(水)、日野町勤労福祉会館 1月29日(木)、13:30～14:30「はーとふるカンパニー」見学
 2月 7日(土)、わたむきの里 2月21日(土)、わたむきの里
 申し込み…地域生活支援センター わたむきの里 TEL/FAX 0748-52-6032 締め切り…平成16年1月13日(火)

野洲会場

日・場所…平成16年2月18日(水)、野洲町総合福祉保健センター
 2月25日(水)、
 3月 5日(金)、

定 員…30名(受付先着順)
 締め切り…平成16年2月13日(金)

3会場とも

時 間…13:30～16:00

彦根会場

日・場所…平成16年3月 3日(水)、彦根市障害者福祉センター
 3月10日(水)、
 3月17日(水)、

定 員…30名(受付先着順)
 締め切り…平成16年2月27日(金)

野洲・彦根 申込み…協会へ電話・FAXにて
 滋賀県精神保健福祉協会 TEL/FAX 077-567-5250

アルコール市民セミナー ちよいと一杯のつもりで…～知っておきたいお酒と身体の関係～

日 時…平成16年2月8日(日) 13:30～16:30(受付13:00) 主 催…滋賀県酒同好会・精神保健総合センター
 場 所…アクティ近江八幡 多目的ホール 参加費…無 料
 講 演…酒は百薬の長ってほんま? 講 師…新阿武山クリニック所長 平野建二先生
 お申込みおよび問合せ先…FAXかハガキで ①参加者氏名②住所③電話番号を明記の上お申込みください。(当日参加可)
 あて先…滋賀県立精神保健総合センター 〒525-0072草津市笠山8丁目4-25 電話077-567-5010 FAX077-567-5033

協会「障害者のつどい」事業

日時…平成16年3月7日(日) 10:00～16:00(予定)
 場所… 未 定
 内容…講演・研修会 等
 詳しい内容が決まり次第、お知らせします。

協会「心の健康を考える県民のつどい」事業

日 時…平成16年3月14日(日) 13:00～16:30(予定)
 場 所…粟東芸術文化会館 さきら
 内 容…「自殺防止」をテーマに講演会とシンポジウム 講師…奈良女子大学教授 清水新二
 問合せ…滋賀県精神保健福祉協会 TEL/FAX 077-567-5250

編集後記

◆雪化粧の伊吹山が美しく見える季節になりました。初冠雪がかなり遅れていた比良山にも雪の便りがありました。一方で京阪電鉄が比良リフト・ロープウェイの今年度末の営業停止を発表しました。何となく寂しい気がします。

◆H12年より介護保険制度、H15年からは身体・知的障害者への福祉サービスの支援費制度が導入されています。それぞれ多くの問題をかかえながらも、利用者が自らサービスを選び契約するシステムへの転換が計られています。現在のところ精神障害者はどちらの制度にも組み込まれていません。

◆それと平行して「障害者ケアマネジメント体制整備検討委員会」は、H13年3月の報告書において、H15年度から身体・知的・精神の三障害を対象にして、障害者ケアマネジメントを本格的に導入するとしていました。H13年3月には精神障害者のケアガイドライン第2版が作成されています。

◆しかし、現在H15年末に至っても、精神障害者のケアマネジメントは機能していません。ケアマネジメント従事者養成研修は毎年行われ、研修修了者が育成されていますが、予算的な裏付けが無く活動の場がありません。「ケアマネジメント体制」として期待され検討されてきたものが、徐々に一つの「手法」の紹介へと変わってきているような気がします。

◆利用者の自己決定と自立支援へ向けたシステムづくりは今後も試行錯誤を繰り返しながら進んでいくのでしょうか。私たちはそれぞれがやれることを積み重ねていきたいと思います。(滋賀県精神神経科診療所協会 上ノ山)

事務局からのお願い

平成15年度の会費未納の会員様は納入をよろしくお願いたします。

会員数 平成15年12月12日現在

| | | |
|------|------|------|
| 一般会員 | 個人会員 | 340名 |
| | 団体会員 | 45団体 |
| 賛助会員 | 個人会員 | 21名 |
| | 団体会員 | 11団体 |